

大地震（震度5強以上）発生時の学校の対応について

本市が「震度5強以上」と発表されたときは、下記のとおり対応します。緊急対応の連絡はメール等で行いますが、つながりにくいことが予想されます。メールや電話による連絡が入らない場合も、下記の対応をしまいいりますので、ご協力くださいますようよろしくお願いします。

記

1 登校前に、発生した場合

- (1) 自宅待機を原則とする。
- (2) 余震等が沈静化し、被害がないことが確認できメール配信等による連絡が可能となった場合、メール配信等により授業再開の連絡をしますので、連絡がない限り登校しないでください。

2 登校時・下校時に発生した場合

※ 次のことについて学校で指導しますが、通学路をお子さんと一緒に歩くなどして、安全な場所や一時避難ができる場所を確認しておいてください。

- ① 危険と思われる建物やブロック塀等から離れて避難する。狭い道路はできるだけ避けて通り、倒れた電柱、垂れ下がった電線等には近づかない。
- ② 通学路における「子どもSOSの家」も確認しておき、困ったときには助けを求める。
- ③ 地震が沈静化した後、原則、帰宅する。学校が近いときは学校へ避難する。

3 在校時に発生した場合

- (1) 直ちに授業等を中止し、児童を校庭等の安全な場所に避難させる。
 - (2) 保護者や家族、代理の方へ引渡しを行うことを原則とします。引渡しの際は、お子さんと顔を合わせていただき、確認後、引渡します。
 - (3) 「震度5強」以上と分かり次第、可能な場合はメール配信し、引取者への引渡しを開始する。引取者が来校できない場合は、迎えに来るまで、児童を安全な場所に待機させる。
- ※ 「震度5強」以上の場合は、連絡がなくてもお子さんのお迎えをお願いします。

4 校外活動や放課後教室時に発生した場合

- (1) 活動を中止し、安全な場所に避難する。
- (2) 学校外にいる場合は、余震に関する情報や被害の状況を確認し、帰校または現地の指示に従う。

5 その他

※ 地震の規模が、「震度5強」を下回る場合でも、校舎や周辺の被害状況（通学路の安全が保証されない等）によっては、児童を学校待機とし、引渡しを行う場合もありますので、ご了承ください。

震度5 強以上の地震や下校前の雷の対応について



【登校前】自宅待機

状況により、臨時休校 または 始業時刻繰り下げ

【登校・下校時】

- ①危険と思われる建物やブロック塀等から離れて避難。狭い道路はできるだけ避けて通り、倒れた電柱、垂れ下がった電線等には近づかないようにする。
- ②原則、帰宅。ただし、学校に近いときは、学校へ避難する。

5弱



【震度5弱】

- 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

5強



【震度5強】

- 物につかまらないうと歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本で落ちるものが多い。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

気象庁HPより

【在校時】

- (1) 授業等を中止し、避難。大きな揺れが収まったら、直ちにグランド等の安全な場所で待機。
- (2) 余震に関する情報、その他周辺の被害の状況を把握した上で、注意事項を徹底し、引渡しによる下校を行う。その際、教職員による巡回等、必要な措置を取る。
- (3) 保護者または代理者が迎えに来られない場合は、校内に保護し、継続して保護者等への連絡に努める。

【下校前雷発生】

- (1) 原則として、学校待機。雷が収束後、下校。下校が大幅に遅れそうな場合等は、「待機」「お迎え依頼」メールを送信。
- (2) 車での迎えの場合
職員の誘導指示に従い、校舎北駐車場に車を駐車（エンジン切）。正門付近道路は混雑するため、徐行運転等安全に最大限の配慮を。

